(様式2)新規評価シート

建設部

道路管理課

車 学 夕			<b>六</b> 海史 <b>今</b> 恢弘笙敷进事業					吹河川石生		(国) 402年				
事業名 事業毎の通番		交通安全施設等整備事業					路河川名等		(国)403号					
事業	事業毎の通番 19 市町村名 長野市 箇所名(ふりがな) 岩野(いわの) 岩野(いわの) 一般国道403号は、上越市から安曇野市に至る広域幹線道路である。そのうち、須坂市から千曲市間では、地域経済業 地区の当該区間では2車線が確保できておらず、また、歩道が設置されていないことから、朝夕の通動・通学時に歩行車道を混合して通行し危険な状態である。また、長野電鉄屋代線が、平成24年3月に廃止され、バスによる代替え運行り、更なる交通事情の悪化が予想されている。このため、歩道の新設を行い、安全で快適な歩行者、自転車の交通をである。								域経済を支 しながら、長 持に歩行者・ 替え運行を行	野市岩野 自転車が テってお				
	しあわせ信州創造プラン における位置付け			第5編 施策の総合的展開 第4章 4-2 県民生活の安全確保 第5章 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり 広域道路整備基本計画(広域道路網マスタ-			根拠為	実施の 去令等	社会資本整備重点計画法 交通安全施設等整備事業に関する法律					
	関連する事業、計画等			長野市都市計画マスタープラン 通学路緊急合同点検:長野市の緊急合同点検会議(通学路の安全対策検討会議)整備確認箇所										
	保全対象·範囲 受益対象·範囲			清野小学校の通学路(整備後) 現況自動車交通量 : 10,007台/日、現況自転車歩行者交通量 : 470人/12h										
概要	着	手年度	平成2	27年度 事業期間		1	5年間 事業費			財源内訳(千円)				
•	完成年	年度(見込み)	平成3	成31年度 費用対効果		果			(千円)	国庫	その他	県債	一般財源	
	全体事業内容 (主な工種)		歩道設置	道設置工 L=400m W=2.75m(両側)					500,000	300,000		180,000	20,000	
	年度事業内容 (主な工種)		詳細設計、	田設計、用地測量、物件調査、用地補償 一式地補償 一式 10,000 6,000   3,600						3,600	400			
	事業		内効果 ・定性的)	歩道利用者の安全確保、特に通学児童の交通事故の減少が期待される										
	効果	間接的効果 (定量的・定性的)		地域間交流の促進、観光振興 緊急輸送路の整備 通行車両の交通事故抑制										
評価の視点	必要性		〇現況自動	O現況自動車交通量 : 10,007台/日									評価	
			〇現況自転車歩行者交通量 : 470人/12h									А		
	重要性		〇関連計画、重点施策との整合 :									評価		
			○図点を目に、至ぶたがよりでは、 2つ以上整合(通学路緊急合同点検、長野県広域道路整備基本計画、長野市都市計画マスタープラン) ○緊急輸送路の路線指定 : 県緊急輸送路(2次)に指定										A	
			○事業期間 : 5年間(H27~H31)										評価	
													С	
			〇近年の3	○近年の交通事故件数 : H22-H25 人or自転車×自動車事故 2件										
		7.4.	〇通学路対	〇通学路対策 : 緊急合同点検を踏まえた対策箇所(整備後、長野市立清野小学校通学路指定予定)										
	緊急性		〇現況の歩道幅員 : 歩道なし										Α	
	計画熟度		〇事業情報	〇事業情報の共有 : 関係者を中心に周知(H25.3対策委員会説明会開催)										
			〇地域の耳	〇地域の取り組み : 積極的な取り組みがある((国)403号(中野・千曲間)整備促進期成同盟会)										
			〇地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている											
			〇住民との協働 : 地元区役員等からなる岩野区国道403号線改良対策委員会とともに計画を策定											
	部意	見	行空間を研	E通量が多く、狭窄な道路であり、安全な歩 庁空間を確保するため、早期の歩道整備が 分要である。					である。高 アクセス道 いことから	曲市を結ぶ 速道路ICや 路であり、3 、必要性、1 も認められる	病院への 交通量も多 重要性が高	評価結果 O	総合評価	
									く、緊急性:	も認められる	5.			

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)





【整備の必要性がわかる状況写真等】

業概要説明図表





事業周辺環境	①事業実施に至る 歴史的経緯・ 社会的背景	長野市岩野地区の当該区間では2車線が確保できておらず、大型車のすれ違いに支障をきたしている。 また、平成24年度3月に並行して走る長野電鉄屋代線が廃止となり、代替バスの主要な走行路線となった。							
	②地域からの要望経緯 及び地域の関わり	(国)403号(中野・千曲間)整備促進期成同盟会からの拡幅改良の早期事業化について要望がある。 地元区の対策委員会が組織され、自発的な取り組みが行われている。							
	③事業説明等の経緯	平成26年3月8日に地元区長、区役員、班長等からなる岩野区国道403号線改良対策委員会への説明会開催した。 その後、平成26年3月14、15、16、23日に委員会主催の地元説明会を開催している。							
	<ul><li>④他事業・ プロジェクトとの 整合、関連</li></ul>	広域道路整備基本計画(広域道路網マスタープラン) 長野市都市計画マスタープラン							
	⑤自然環境・ 生活環境への 影響と配慮	低騒音舗装を検討し、沿線地域の生活環境確保を図る。							
	⑥地域活性化への 影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、安全な通行が確保されることにより、周辺観光地の活性化も期待される。また、屋代工業団地への産業拠点へのアクセス道路が整備されることにより、地域経済の活性化も期待される。							
	⑦その他	長野電鉄屋代線が、平成24年3月に廃止され、バスによる代替え運行 事業代表地点 北緯:N 138°09′42″76							
	U COME	が開始されており、更なる交通事情の悪化が予想されている。 の緯度経度 東経:E 36°33′24″66							